

進路通信

2020年6月4日発行 第2号
青森県立青森中央高等学校
進路指導部



第1回進路志望調査の集計結果

年次	在籍数	進学															就職				
		大学				短大				専修・各種				未定	合計	進学希望率	就職希望率				
		国公立	私立	未定	計	公立	私立	未定	計	専修	各種	未定	計				県内	県外	公務員	合計	就職希望率
1	199	39	21	2	62	1	30	1	32	40	6	10	56	2	152	76.4	22	6	11	39	23.1
2	196	33	35	1	69	0	20	0	20	61	3	7	71	4	160	81.2	12	10	14	36	18.3
3	194	20	41	1	62	0	21	0	21	64	2	2	68	0	154	79.4	12	15	9	36	18.6

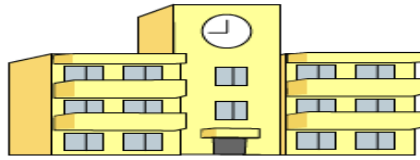
(単位は人、但し希望率は%)

先日実施した第1回進路志望調査の集計結果がまとまりました。各年次とも進学希望率が高く、就職希望率が低いパーセントになっていますが、これは例年通りの数字を表しています。また、総合学科らしく生徒の個性や適性に応じた多種多様な志望状況になっていると思います。進路指導部では、このデータをもとに、進路ガイダンスに向けての準備を進めていきます。

文部科学省：総合型選抜・学校推薦型選抜方法についての通知

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校長期化（東京都など）を受け、文部科学省は、5月14日に大学の総合型選抜と学校推薦型選抜について、オンラインで面接試験を行うなどの実施方法を工夫するようという通知を全国の大学等に出したという記事が新聞に載っていました。

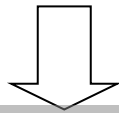
文科省の通知では、部活動の大会や資格検定試験が中止や延期になり、3年次の実績を調査書に記載できないことを受け、「この間の個々の志願者の成果に向けた努力のプロセスや、入学を志願する大学で学ぼうとする意欲を多面的・総合的に評価する」と記している。



3年次生の中には、県高総体が行われていれば、インターハイ出場の夢が叶い、大学への評価のポイントが上がった人もいます。通知によると、そのような人は、インターハイに出場するために行った具体的な取組み、例えば、継続して行った練習内容とか、どのようにして苦手な事を克服してきたか、あるいは、集中力を身に付ける方法などを活動報告書に書くとポイントが上がります。

また、「学ぶ意欲」が評価される場合では、入学したい理由を説明するのではなく、入学後の「学修計画」を説明する必要があります。学部学科で学ぶ専門科目の内容を理解した上で、どのような研究をしたいのかを説明します。卒業後は、どのような職業に就きキャリアを積み重ねて行くのかという内容までが要求されます。

就職希望生徒も同じです。まずは希望する企業に自分の適性、長所を活かしてどのような貢献ができるのか。仕事内容、職場環境を理解した上で長く勤めることができる職場なのか。あるいは5年後の自分はどうなっているのかなどをまとめておく必要があります。



1・2年次生も、今こそ、部活動やボランティア活動、資格や検定、校外活動など、多くのことに挑戦してください。日々の生活を記録し、レポートにまとめ、3年間の高校生活で何を学び、何を成し遂げたかという足跡を活動報告書にまとめる準備をしておいてください。

☆ 6月の進路模試

6月13日（土）
進研大学共通テストマーク模試1日目
公務員模試（自宅受検）
6月14日（日）
進研大学共通テストマーク模試2日目
小論文模試（自宅受験）

